

Today's Mission & 徒然なるままに…

(前回の最後の部分を少し掲載)

… … …

高校生の後半になってくると、今度は実力考査や大学入試へと対象が移っていきました。
具体的な範囲も指定されない試験なので、出題者の立場で問題を作成するのが非常に難しく感じられました。題材、出典、難易度、出題傾向、etc … 1つ1つに注意を払いながら、作成に取り組んでいました。

ここで、新たに1つの意識の変化が訪れました。それは“出題の文言”に着目した時のことです。国語の試験を作成していた時のこと。

“簡潔に説明せよ” “本文中の語句を用いて説明せよ” “わかりやすく説明せよ” “具体的に説明せよ”

“本文全体を踏まえて／本文の論旨を踏まえて説明せよ”

出題者は、どのような意図をもって、出題の文言を使い分けているのだろうか、と考えるようになりました。

… … …

今日の内容

さて、私は学生時代に某作品を使用して国語の問題を作成したことがあります、かなり大変でした。
記述問題の解答例を作るのは特に頭を悩ませました。

⑦「簡潔に答えなさい」ならば、長々としてはいけない。

「具体的に答えなさい」ならば、スカスカな解答になってはいけない。

「わかりやすく説明しなさい」ならば、本文の抜き出しや、つぎはぎでごまかしてはいけない。

「本文全体を踏まえて／本文の論旨を踏まえて説明しなさい」ならば、本文の一部分しか見ていない解答ではいけない。

当時、試験作成の奥深さを肌で感じました。出題にあたってふさわしい題材、レベル、形式 … 本当に奥が深い。

ちなみに、国語科の某先生に、これらの出題の文言について見解を聞いてみました。その見解は、下記の通りです。

まず、「説明せよ」という問題は本文（指示部）に書いてあることを誰が見てもわかるように正しい文章で説明することが大切です。しかし、説明するには、

① 傍線部（指示部）を分解

② 分解したものと同じ意味を持つ文章を本文から見つける

③ それを再構成する

などの段階が必要です。その中で、「～説明せよ」とすることで、この段階をどのようにしてほしいのかを表しています。

例えば、「本文中の語句を用いて」では説明するために大事な語句が本文にある場合に使い、「正しい部分を本文から見つけることができるか」を問うために使います。「簡潔に」「わかりやすく」などでは本文に記されているままでは少し長かったり、難しかったりするため「自分でちゃんと再構成できるか、正しい文章に直せるか」を問うために使います。

このように、問題文にも出題者の意図があります。どの段階を問われている問題なのかも考えてみてください。

前回の徒然なるままに…でも、出題者の意図（出題者の立場で考える）についてふれましたが、今回の見解でも、「出題者の意図」というキーワードが出てきています。一見さりげない文言ですが、そこにはやはり、解答者（受験生）に向けてのメッセージが込められていることが伺えますね。

当時、私も高校生でしたので、受験指導のボランティア（vol.13 参照）をしつつ、自分の受験勉強もしていました。さまざまな大学の問題を解くわけですが、国語については「これだと“わかりやすく”という要求に応えられていないね」等、添削指導で細かにチェックを受けたことを今でも覚えています。出題者の意図をくみ取り、解答を通して返すことの難しさ … 訓練が大切ですね。

④…あっ、勉強だけしていたと思われるかもしれませんが、文化祭や体育大会などの学校行事も全力で楽しんでいましたよ（汗）。応援合戦の入賞、仮装行列で「天の声（ナレーション）」を演じたのは、特に良い思い出ですね。

～vol.15 へ続く～

[35 回生投稿窓口](#)・[35 回生質問受付窓口](#) takatsuka2019@gmail.com

(件名に、学年、組、番号、名前、用件を必ず書いて送信。：気の向くままに vol.0 参照)
(投稿・質問以外のメールは固くお断りします。休校期間が終了次第、本メールは閉鎖します)

気の向くままに… ～英語で表現コーナー～ vol.15 へ続く 編集 35 回生学年団 3-1 K.M

